

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

農林課

1 施設の概要等

施設名	府中市地域産物加工販売施設		
所在地	広島県府中市上下町矢野662-5		
設置目的	地域の林業振興と地場資源活用による地域特産物の加工販売を促進することを目的とする。		
施設・設備	施設建物(木作業室、展示コーナー、林産物加工室)、駐車場、木作業用機械		
指定管理者	R4.4.1	～	R5.3.31 一般社団法人府中市まちづくり振興公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	2,300 人	2,467 人	901 人	167 人	107.3%	%
R5	人	人	人	人	人	%	
R6	人	人	人	人	人	%	
R7	人	人	人	人	人	%	
R8	人	人	- 人	人	人	%	
増減理由	そば処四季として運営されており、コロナ禍によるイベント中止等が無くなったこと、隣接する四季の里キャンプ場の利用者が増加したことに伴い、利用者が増加している。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	お客様の声BOXの設置	利用者32人
	【主な意見】	【その対応状況】
	目の前でそば打ちも見られ、美味しく食べられた。	
	そばだけで無く、他の食事があればよい。	民間のアイデアやノウハウにより検討する。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考			
報告書	年度	○	事業報告書			
	月報	×	月次報告書			
	日報(必要随時)	○	設備の破損故障等随時			
管理運営会議		【特記事項等】				
1回 会場 公社事務所		利用状況や不具合修繕状況についての報告・提案をし、意見交換協議を行った。				
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】				
1月	2月	3月	4月	5月	修繕発生時や運営に疑義が生じた都度に会議を実施している。	
			○		【市の対応】	
6月	7月	8月	9月	10月	設備の破損等が生じた場合は、現地調査を実施。	
				○		
11月	12月					

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	6,671	394		R4	3,412	1,337
R5			R5				
R6			R6				
R7			R7				
R8		-	R8		-		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R3決算額	R4決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	6,277	6,671	394	物価高騰、人件費増に伴う増
	料金収入	0	0	0	
	その他収入	0	33	33	電気料金等支援金等
	計(A)	6,277	6,704	427	
	支出				
	人件費	5,122	5,644	522	臨時職員の雇用等
	光熱水費	775	813	38	電気料金高騰
	設備等保守点検費	0	0	0	
	清掃・警備費等	0	0	0	
	施設維持修繕費	100	118	18	
	事務局費	155	176	21	
	その他支出	358	714	356	諸経費の増
	計(B)	6,510	7,465	955	
収支①(A-B)	-233	-761	-528		
自主事業					
収入(C)	2,075	3,412	1,337	そば処四季、各種販売	
支出(D)	1,105	1,840	735		
収支②(C-D)	970	1,572	602		
合計収支(①+②)	737	811	74		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>コロナ感染症の基準緩和により、3年ぶりにほぼ通常の施設運営となり、対前年比で利用者数が伸び、そば処四季として売上も伸びた。しかし、併せて光熱水費や器具などの諸経費が増加した。地元栽培のそば粉を使用するなど地域活性化の一助となった。</p> <p>当該施設は、市の方針により令和5年度から府中市観光協会に管理が移管する。</p>	<p>隣接する四季の里でのイベントの再開等に伴い、施設利用者数がコロナ以前の状況に戻っている。また、地元栽培のそば粉を利用したそばの提供も好評であり、自主事業展開が評価できる。</p> <p>日常の施設管理も十分行われている。</p> <p>しかし、そば処四季の営業が土日祝日しか行われていない上、木工作業室、木工作業機械を活用した事業が行われていないことから、施設が十分活用できていない。</p> <p>コロナ感染症の基準緩和後の対策を踏まえ、民間のアイデアやノウハウを導入し、利用促進、誘客に向けた取組が必要である。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<p>コロナ感染症の基準緩和により、そば処四季として一定数の利用者が見込まれる。</p> <p>施設については、木工作業室の活用が課題。</p> <p>管理者が変更となるので運用面の強化が必要。</p>	<p>民間のアイデアやノウハウを導入し、施設の有効活用、更なる利用者の獲得を目指すため、令和5年度は、令和6年度からの民間管理を見据えて、(一財)府中市まちづくり振興公社から(一社)府中市観光協会に管理者を移管することとした。</p>